

会 議 録

会議等名	富士見市健康づくり審議会委員委嘱状交付式 及び 令和元年度第1回富士見市健康づくり審議会
開催日時	令和元年8月1日(木) 午後1時30分～3時30分
開催場所	富士見市立健康増進センター 研修室
出席者名	委員：大竹 ミイ子委員 小木曾 正勝委員 奥住 幸江委員、 久米原 明彦委員 是永 国彦委員 關野 美知子委員 高橋 誠委員 武長 正洋委員 田中 久子委員 戸塚 隆久委員 中村 真紀子委員 埴 早苗委員 細谷 洋委員 牧 寿夫委員 三角 麻子委員 事務局：大森健康福祉部長 望月健康増進センター所長 山崎健康増進センター副所長 齊藤健康増進センター副所長 平介護予防係長 村井母子保健係長 渋谷主任 藤田主任
欠席者名	委員：中島 秀行委員、苗代 明委員、湯尾 明委員、吉成 亜紀子委員
傍聴者	0名
内 容	
<p>1 委嘱状交付 (市長から各委員へ委嘱状を交付)</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 開会</p> <p>4 委員紹介 (50音順に自己紹介があり、続いて事務局紹介が行われた)</p> <p>5 会長および副会長の選出 富士見市健康づくり審議会条例 第5条第1項に基づき、委員の互選により選出。 事務局一任により会長に富士見医師会の小木曾正勝氏、副会長に女子栄養大学の田中久子氏が選任。</p>	

6 会長あいさつ

(小木曾会長からあいさつが行われた)

7 議題

(富士見市健康づくり審議会条例第6条により、委員の過半数の出席があるので、本日の令和元年度第1回富士見市健康づくり審議会が成立する旨の報告が行われた。)

(1) 条例の一部改正について(報告)・・・資料1、資料2、資料3

会長
事務局

議題(1) 条例の一部改正について事務局より説明をお願いします。
平成30年度3月議会において、健康づくり審議会条例の一部改正が可決され、歯科口腔保健推進委員会条例が廃止となった。
健康増進計画と歯科口腔保健推進計画は、令和2年度に計画期間の中間評価見直しを迎えるため、後期計画を策定することとなった。現行の健康増進計画の第5節が、歯と口腔の健康となっていて、歯科口腔保健推進計画とほぼ共通の取組となっている。この2つの計画を一体的に進行管理するよう努めてきたが、この中間評価見直しの際に、健康づくり審議会と歯科口腔保健推進委員会を統合することによって、より明確に両計画を関連付け、相互性を高めた進行管理を行っていきたいと考えている。
条例改正後の健康づくり審議会は、歯科口腔保健推進委員会と統合するため、資料2の名簿一覧のとおり、先ほど紹介をいただいた20名以内となっている。
計画の作成体制として、原案の審議は、この健康づくり審議会で行う。原案の策定については、市民の意見等を反映するため、これから議題(4)で審議するアンケート調査と、来年度に市民ワークショップを実施していく予定でいる。
事務局の説明について、意見があればお願いします。
(意見なし)

会長
委員一同

(2) 「健康ライフ☆ふじみ(富士見市健康増進計画・食育推進計画)」平成30年度取組状況及び評価・・・資料4

会長
事務局

議題(2) 「健康ライフ☆ふじみ(富士見市健康増進計画・食育推進計画)」平成30年度取組状況及び評価について、事務局より説明をお願いします。
資料4に訂正がひとつある。23番の学校や公共施設などの既存の施設を活用し、スポーツや運動習慣づくりの促進を図りますというところで、今後の方向性が「縮小」となっているが、「継続」と訂正してほしい。
平成30年度の進捗状況で、健康増進センターでの取組としては、食育や運動習慣づくりにおいて、特に成壮年期に対する教育や情報発信に力を入れて行っ

<p>会長 副会長 事務局 会長 副会長 事務局 会長 委員一同</p>	<p>てきた。また、がん検診の受診率向上のために胃の内視鏡検診を実施し、乳がん検診の個別検診の実施について整備をしているところだ。また関係機関の取組としては、歯と口腔の健康づくりにおいて、児童、生徒への保健指導の実施や、成人・高齢者を対象にした口腔がん検診の普及啓発等を歯科医師会や歯科衛生士会を中心に取組を拡大していただいている。</p> <p>今の説明について意見、感想があればお願いします。</p> <p>訂正があった23番について「縮小」ではなく「継続」ということだが、平成29年を見ると、パークヨガ4回で80名だったのが、平成30年は3回で21名となっているので縮小かと思ったが、回数と参加人数が減った理由は何か。こちらについては公民館での取組になるので、詳細についてはわからない。他に何かあればお願いします。</p> <p>32番の健康づくりのための運動についての普及啓発で、平成29年度の健康マイレージ事業が927人で、平成30年度が1,284人と増えているが、平成30年度は何か違うやり方をして増えたということなのか。ロコミがあったのか。周知の方法は特別に工夫してはいないが、ロコミもあったかもしれない。他に意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>(3)「歯っぴーライフ☆ふじみ(富士見市歯科口腔保健推進計画)」歯と口腔の健康に関する事業の取組状況について・・・資料5、資料6</p>	
<p>会長 事務局</p>	<p>議題(3)「歯っぴーライフ☆ふじみ(富士見市歯科口腔保健推進計画)」歯と口腔の健康に関する事業の取組状況について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>資料5は進捗管理で、資料6はライフステージ別の数値を載せている。</p> <p>資料6 ライフステージ別目標値のS4のむし歯のない幼児の増加の5歳児の欄と、S16からS21までの学校教育課に関わるものは秋頃にならないとデータが届かないので現在は空欄になっている。次回に結果をお知らせする。</p> <p>事業の取組については、平成30年度は新規や拡充した事業はなく、平成29年並みの結果であった。先日の庁内検討委員会的时候、資料6でS25の60歳代における進行した歯周炎(4mm以上の深い歯周ポケット)を有する人の減少で、平成25年は42.1%だったのが、平成28年度が15.6%、平成30年度が14.2%とよくなっているが、計算の間違ひではないかと質問いただいていたので、担当に確認したところ、数値は合っているが、こちらは成人歯科健診を基に割合を出していて、母数がかつとも少ないので、数値が動きやすいとのことであった。また、成人歯科健診は、治療中で保険診療を受けている方が対象外となるため、どうしても歯の状態のよい方が継続的に受診できるという傾向があるので数値がよくなっているのかもしれないということが分かった。市が把握できるデータというのは、どうしても成人歯科健診になってしまうので、中間評価見直しの際には、この指標を継続すべきかについても検討したい。本日は、歯科衛生士会の埴委員に出席いただいているので、何かライフステージ別</p>

会長 委員	の歯周炎等の情報提供があれば、ぜひお願いしたい。 歯科衛生士会から何かあるか。
会長 委員	60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合が15.6%と14.2%というのは、確かにちょっと少ない。 良過ぎるということか。
会長 委員	はい。実際に成人歯科健診に来られる方というのは、比較のお口の中に自信を持っている方が多く、本当に悪くて来られる方が少ないので、そのデータを今後どうやってとっていくのか、歯科医師会の先生方と提携してとっていったほうが正確な数値が出てくると思うが、難しいか。
会長 事務局 副会長	正確な値を出すために、統計のとり方は検討していかないといけない。 はい。
事務局	S2からS4のむし歯のない幼児の増加というところで、むし歯のない幼児は何%という割合が、県や国とか他と比べてどうなのか、平均的なのかどうかというのは分からないのか。
副会長	具体的な数値まで細かく資料が出ていないが、県と比較してほぼ同数か、ほんの少し良いかどうかというところで、ほぼ同じ傾向となっている。
事務局	S14とS15の定期的なフッ化物の塗布について、歯科医師会で出していた、むし歯予防デーでフッ素塗布を無料でやるとかそういう予定はあるのか。
会長 委員一同	毎年6月の最初の日曜日に、歯と口の健康フェア実施しており、そこに来たお子様で希望者にはフッ素洗口、もしくはフッ化物塗布をしている。 資料5、6のところでは他に質問、意見はあるか。 (意見なし)
(4) (仮称) 健康増進計画 (中間評価見直し) について・・・資料7、資料8	
会長 事務局	議題(3) (仮称) 健康増進計画 (中間評価見直し) について、事務局より説明をお願いします。 富士見市健康に関するアンケート調査(案)の調査方法については、健康増進計画策定時に実施した調査方法と同様に実施したい。 今回の中間評価見直しにおいては、5歳児の保護者のアンケートに歯科保健アンケートの質問を盛り込み、歯科保健アンケートの3歳児の調査については、今回のアンケートには3歳児の児童を対象にしたものがないので、富士見市で行っている3歳児健診の問診票と一緒にアンケート用紙を送付することでデータ収集することにした。 調査の内容については、健康増進計画策定時のカテゴリーは変更せずに行いたい。 「成人・高齢者」「中学生」「小学生」「5歳児保護者」の各アンケートの設問構成については、別紙のアンケート修正まとめ(案)というA3判資料一覧にして、訂正追加等をまとめた。 黒字で記載したものが、計画策定時の調査の項目及び項番になっている。青字

で記載したものが、各ライフステージ独自での質問になっている。赤字で記載したものが、今回の中間評価見直しの際に訂正や追加したい項目となっている。調査対象の列には設問内容が書いてあり、計画という欄に○がついているのは、現在、歯科口腔保健推進計画と健康増進計画の指標の設問となっているものである。事務局案の欄には、削除・追加・検討等を記入した。

併せて、左の2列に、国の指標と県の指標を参考として入れてある。

まずアンケート全体を通しての変更点としては、今回、中間評価見直しということで5年半の推移を把握する指標のみを残して、調査票の回収率を上げるために、少し質問を減らしたい。

また、今回は初めて健康増進計画、歯科口腔保健推進計画を策定するための調査ということもあり、不要な設問が多数あったので、そういった設問は削除して今後の5年間の後期計画で新たに事業を展開していく上で必要となる指標を追加したいと考えている。更に、別紙で、一番上に（案）と書いてあるA4の参考資料を配付しているが、これは、健康増進センターの取組や健康等に関する相談窓口の情報提供のチラシで、成人と5歳児の保護者にアンケートを送付する時に同封したいと考えている。

また、全体を通しての変更点だが、性別の欄については、近年の性的マイノリティーに配慮するため、成人については、「3その他」を追加することを考えている。小学生、5歳児については設問自体の削除を考えているが、中学生については現在検討中である。この点についても今日、養護教諭の委員に意見をいただきたい。

更に、全体的な変更点として、以前にはなかったが「居住地域」「加入健康保険」「自由記載欄」を追加したい。

事務局の説明に対して、意見、質問があればお願いします。

修正案のまとめ（案）で、健康についての5番の体重を測る習慣が削除されているが、3番では身長と体重の具体的な数値を記入させるのか。

お手元に配付しているアンケート調査票案をご確認いただきたいが、どのライフステージ調査票でも、具体的に身長と体重の記載欄を設けているので、5番は削除した。

現在、健康増進センターでは歩数計を市民の皆さんに分けて、何歩歩いているかチェックしなさいということをやっているが、その項目は入らないのか。

アンケート修正まとめ（案）の裏面の運動の項目にもあるが、既に入っている。

これからの時間は、それぞれのアンケート調査票を説明していただき、その後に具体的な質問を受けていきたい。まずは成人の調査票から説明をお願いします。

それでは、資料8の成人調査票について説明する。先ほども説明したが、事務局案のところに削除の記載がある設問については削除したい。

問8のがん検診の受診有無を確認する設問では、子宮がん検診と胃がん検診の内視鏡が2年に1回になったことに伴って変更している。

会長
委員

事務局

委員

事務局
会長

事務局

	<p>問9は、医療体制の満足度を問う設問であるが、富士見市の総合計画のアンケートにあった指標であり、健康に関することなので、健康増進計画の調査で聞くべき設問ということで追加した。</p> <p>その下の夕食時間や外食の状況、外食時の栄養バランスは削除した。</p> <p>問12は、前回の調査では野菜料理を食べているかという設問だったが、今回は指標となっている摂取量を確認する設問とした。</p> <p>問19は、前回の調査では伝統料理を食べる頻度を聞いていたが、伝統的な料理や作法等を継承して伝えていく人を増やしていくという指標になったことを踏まえ、伝統料理を継承しているかどうかという設問に変更した。</p> <p>問20は、前回の調査では栄養成分表示関連の設問となっていたが、削除した。</p> <p>問24と問25には、食品ロスの削減についての設問を入れているが、国の指標は「食品ロスを削減するために何らかの行動をしている国民を増やす」という行動を問う設問になっているので、どちらかという問24の方が該当するかと思っている。この点についても委員の意見をいただきたい。当市の環境課でも、環境に関するアンケート調査を行っているが、この項目は入っていないので、健康増進センターのアンケートで調査していきたい。</p> <p>問31は、歯と口で特に気にしていることは何ですかという設問で、むし歯だけではなくて歯周病の有無についても確認できるような選択肢を入れた。</p> <p>問32は、前回の調査では歯科健診の受診有無のみを問う設問だったが、現在では、定期的な受診ということが大切になってきたので、そのように変更した。</p> <p>問38は、前回の調査では運動頻度のみを問う設問だったが、運動習慣の有無を把握するようにした。運動習慣のある者の定義は、「1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上の継続をしている者」ということなので、期間の設問を追加した。</p> <p>問52は、前回の調査では公共の場での禁煙または分煙について聞いていたが、健康増進法が改正され、7月1日より公共の施設の敷地内が原則禁煙になったので、設問自体を削除した。</p> <p>最後の属性設問では、性別に「3その他」を追加した。それに、市内の居住地域、加入している健康保険の種類、自由記載欄を新たに追加した。</p> <p>事務局としては、問24と問25のどちらも食品ロスに関係する設問になっているので、どちらか1つにしたい。事務局としては、問24にしようと考えているが、委員の意見を確認したい。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>委員の意見はどうか。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>問25は、我々一般家庭には関係ない設問のような気がする。問24のほうは「食材の無駄」と「食べ残し」を別々に聞いたらどうか。これはもったいないような気がする。テレビ等では食品産業で余ったものをどうするかというような話も聞くが、我々一般家庭では食品産業のことはよく分からないので。</p> <p>問24をどんなふうにするか。</p> <p>食材の無駄遣い無駄買いということは、私も買物に行くのでよく分かる。食べ</p>

<p>会長 事務局 会長 委員</p>	<p>残しについては、せっかく作ったのに、特にこういう夏場になると痛んでしまうので捨ててしまうというもったいなさがある気がする。食べ残しをどうするか、なくさないようにするためにはどうしたらいいかというような設問の方が家庭にはぴんとくると思う。 事務局はどうか。 そのように検討したいと思う。 お願いします。</p>
<p>事務局 委員 事務局 委員</p>	<p>問 35 は、入れ歯を使用しているかどうか。問 35-1 は、「はい」の場合に入れ歯の手入れをしているかという設問になっているが、入れ歯には総入れ歯と部分入れ歯がある。これは両方併せての設問なのか。総入れ歯と部分入れ歯は違うと思うが、部分入れ歯というのは1本でも2本でも入れ歯なのか。 取り外しができれば入れ歯になる。 それを言っているのか。 この設問は、分けて考えておらず、両方の意味合いの設問としている。</p>
<p>会長 委員一同 会長</p>	<p>1本でも2本でも入れ歯は入れ歯であれば、そういう説明を入れておいた方がいいような気がする。 成人の調査票については以上でよいか。 (意見なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>次に、小学生調査票の説明をお願いします。 このアンケートは、授業時間内で実施し、子どもたちが自分で○印をつけて、担任の先生が回収をする方法を考えている。先日、庁内検討委員会で、学校教育課に確認した結果、漢字が読めない子どももいるということなので、全部の漢字にルビを振ろうと考えている。 また、成人と中学生の調査票では、「以上」、「未満」という言葉を使っているが、分からない子どももいるということなので、未満という言葉は使わないようにする。 問 10 から問 12 については、前回の調査では、間食を食べているかと、どんな間食を食べているかという2問だけだったが、歯科口腔保健推進計画策定時のアンケートで、5歳児と3歳児に、甘いお菓子を1日どのぐらい食べているかという設問があったので、小学生、中学生向けの設問にも同様に、甘いお菓子を1日何回食べているか、甘い飲物を1日何回飲んでいるかという設問を追加した。 問 17 は、前回の調査の際、「郷土料理」の内容が分かりづらいという意見があったので、詳しい説明文を入れた。また、前回の調査では伝統料理の頻度を確認していたが、どのくらい知っているかという認知を問う設問に替えた。 問 20 は、国と県の指標に、「ゆっくりよくかんで食べる者の増加」があるので、この設問を追加した。 問 26 は、歯科口腔保健推進計画で、歯肉に炎症を持つ児の減少という指標があるため、この設問を入れたが、児童と生徒にはちょっと分かりづらい設問な</p>

	<p>のか、養護教諭と歯科衛生士に意見をいただきたい。</p> <p>地域生活の項目で、「あいさつをしているか」という設問の削除について、前回の調査では、「近所の人に挨拶をしていますか」という設問だったが、近所の人というものを子供は判別できないという意見があり、指標として入れても意味がないということで削除とした。</p> <p>性別については、ふじみ野市が小学生のアンケート調査で性別を聞いていないということもあり、小学生については性別の設問自体を削除する方向も考えている。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>意見をいただきたいのは、歯周病、歯肉炎のところか。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>はい。</p> <p>養護の先生の意見は。</p>
	<p>歯周炎、歯肉炎については、歯科健診結果で通知に書いてはあるが、それを子どもが自分で見て認識しているのか不明である。学校で出す統計でよければ、割と正確な数値が把握できると思う。子どもがどこまで認識できているのか知りたい、もしくは、学校で出した数値と子ども本人の認識との差が重要になってくるのであれば残しておいてもよいと思うが。子どもへのアンケート調査と学校の統計とでは、とる時期が違うので、そのときは歯肉炎と言われている、今はもう治っているという認識もあり得る。誤差は相当出るとは思う。</p>
<p>事務局 会長 委員</p>	<p>ありがとうございます。検討させていただく。</p>
	<p>小学校5年生で分かりますか。</p>
<p>委員</p>	<p>富士見市では全小学校の1年生と5年生を対象にした保健指導をやっている。その中で、1年生はむし歯を中心に話しをしているが、5年生に関しては、歯周炎、歯肉炎を中心に歯科保健指導をしている。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>今年度からは1年生と4年生になっており、4年生はかむことについての指導になっているので、歯周炎とか歯肉炎は質問に入っていない。</p>
<p>会長 委員 事務局</p>	<p>健診の結果が統計上に出ていれば、アンケート調査は必要ないのかもしれない。</p>
<p>会長 委員 事務局</p>	<p>問35、問36、問37のたばことお酒の設問の意味を教えてください。小学生なので抵抗があるような気がするが。何か奨励している気もする。</p>
	<p>これは5年生だけか。</p>
	<p>問36はいいとしても、問35と問37は。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>この設問については、問34で親に喫煙者がいる場合に、問35で本人が将来喫煙してみたいと思う割合が多ければ、親御さんへのアプローチが必要になるのではないかとすることを想定した質問になっている。飲酒についても同様に考えている。推奨しているわけではない。</p>
<p>会長 委員一同</p>	<p>検討してほしい。</p> <p>はい。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>小学生は以上でよいか。 (意見なし)</p>

	<p>続いて中学生調査票の説明をお願いします。</p> <p>中学生調査票についても、問 10 から問 12 の間食のところに、小学生調査と同様に、甘いお菓子の食用頻度と、甘い飲物の飲用頻度の設問を追加した。</p> <p>問 19 についても、小学生調査と同様に、行事食や伝統食というものに対してなじみがないかもしれないということで、説明書きを入れた。</p> <p>問 22 についても、小学生調査と同様に、ゆっくりよくかんで食べる者の増加という指標があるので追加した。</p> <p>問 27 に、歯周炎と歯肉炎を問う設問を入れたが、中学生に関してもこの設問を入れる必要があるかどうかについて意見をいただきたい。</p> <p>また、挨拶をしているかという設問についても、小学生調査と同じ理由で削除したい。</p>
会長	<p>最後に性別を聞く設問について、「3 その他」を入れた方がよいかについて、意見をいただきたい。</p>
委員	<p>歯周炎と歯肉炎については中学生だと認識はどうか。学校の健診の結果の数値を使うかどうか、小学生調査と同じように検討してほしい。統計が使えるればそれでいいと思う。</p>
委員	<p>性別についての意見はあるか。</p> <p>養護教諭の立場としては、性別を聞くのであれば、その他の項目があれば自分の性に違和感を持っているお子さんが、こういう公共の調査で聞いてくれるんだという安心もあるのかなと思う。ただ、そのことを公にしていないお子さんもいると思うので、アンケートをする場合はそのことを念頭に、名前は書かないということ、封筒に入れて提出するので先生は見ないということをしっかり伝えた上でやっていただきたいと思う。</p>
事務局 会長	<p>調査は無記名ですよね。男女共同参画の調査が来ているが、それにも「その他」が入っている。最近は「その他」という表記が正式に認められているので入れる必要があると思う。</p>
委員一同	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>他に意見はあるか。</p>
事務局	<p>(意見なし)</p>
	<p>最後に、5 歳児保護者調査の説明をお願いします。</p> <p>この調査票は、市内在住の 5 歳児の保護者の方に、お子さんのことを中心に聞いているが、一部は、妊娠しているときの喫煙の状況や、飲酒の状況についてなどお母さんご自身や、保護者について確認する設問もある。</p> <p>問 7 から問 9 の設問については、小学生、中学生と同様に甘いお菓子と甘い飲物の指標をこの 5 歳児のアンケートに盛り込むということで追加した。</p> <p>問 14 の下に、「地産地消の認知度」から「ゆっくりよくかんで食べるか」という設問を赤字で記載しているが、こちらも今までは 5 歳児の保護者にはない設問だったが、富士見市としても食育を推進している状況なので、成人の調査票同様に追加した。</p>

<p>会長 委員一同 会長</p>	<p>問 34 は、お母さんの心の悩みや仕事、家事、育児等のストレス等について相談できる人や場所があるかという設問を追加した。成人調査、中学生調査、小学生調査では、悩みを相談できる人や場所がある人の増加ということで計画の指標にしていたが、今まで乳幼児の保護者については確認していない項目だった。加えて、現在、富士見市では3歳児健診で健診が終わりになるため、その後、保護者とお子さんの状況や、心の状態を確認するという機会がないということもあり、この調査で確認するために追加した。</p> <p>また、お子さんが近所の方に挨拶をしていますかという設問についても、小学生、中学生と同様に削除した。</p> <p>お子さんの年齢については、このアンケートの実施時期が来年の令和2年度の4月に実施する予定なので、4月1日現在の年齢は5歳児しかいないことになるので、設問を削除した。</p> <p>また、居住地域、加入健康保険の種類、自由記載欄を追加した。</p> <p>5歳児保護者調査の内容について意見があれば願する。 (意見なし)</p> <p>以上をもって(1)から(4)までの議題について終了する。今日の意見を参考にして、事務局の方で次回の審議会に向けていろいろ訂正などをお願いする。</p>
<p>(2) 今後の予定について・・・資料9</p>	
<p>会長 事務局 会長</p>	<p>今後の予定について、説明をお願いします。</p> <p>本年度の今後の予定としては、今回の意見を踏まえて調査票を作成し、次回の審議会では完成形のものを確認したいと考えている。</p> <p>次回の審議会は、令和2年1月の開催を予定しているので承知おきいただきたい。開催日時については、今回同様、通知文を送付する。</p> <p>また、審議会の他に市民の意見を広く聞くために、来年度に市民ワークショップの開催を予定している。審議会委員及び委員皆様の所属団体の方々にも協力をお願いすると思うが、詳細については次回の審議会でも報告する。</p> <p>来年度の大きな流れとしては、11月までに審議会でも計画案を固め、その後、政策会議を経てパブリックコメントの実施を予定している。</p> <p>今後の予定については以上になる。</p> <p>次回の審議会は来年の1月の予定なので、またよろしく願する。</p>
<p>8 その他</p>	<p>(特になし)</p>
<p>9 閉会</p>	